

SlackBot プログラムの仕様書

2020/6/2

野村 優文

1 概要

本資料は、2020 年度 B4 新人研修課題の 1 つで作成した、SlackBot プログラムの報告書である。本プログラムはチャットツールである Slack[1] を用いる。また、SlackBot は、ユーザが Slack 上で投稿した特定の文章をきっかけとして、Slack 上で自動的に返信する機能をもつ。本資料では、課題内容、理解できなかった部分、作成できなかった機能、自主的に作成した機能について記述する。

2 課題内容

課題内容は SlackBot プログラムを作成することである。具体的には以下の 2 つを行う。

(1) 任意の文字列を返信するプログラムの作成

Slack でユーザが “「 」と言って” と投稿したとき、SlackBot は “ ” と返信するプログラムを作成する。

(2) SlackBot プログラムへの機能追加

Slack 以外の Web サービスの API や Webhook を利用した機能を追加する。

(1)(2) の課題のために作成したプログラムは Ruby を利用し、バージョンは 2.5.5 である。また、作成したプログラムのコードは 208 行だった。

3 理解できなかった部分

4 自主的に作成した機能

2 章 (2) の課題のために、自主的に作成した機能を以下に記述する。

(1) Weather Hacks (気象データ配信サービス) [2] を用いた天気予報の情報を投稿する機能

この機能は、Weather Hacks (気象データ配信サービス) を用いて天気予報の情報を通知する機能である。ユーザは、“@masabot (日にち) の (都道府県名) の天気” と Slack 上に投稿した時、SlackBot は指定した日にちと都道府県の天気予報を返信する。機能の詳細は SlackBot の仕様書に記載する。

5 作成できなかった機能

本課題で作成できなかった機能を以下に記述する．

- (1) 本プログラムが，Slack の Outgoing WebHook 以外から POST リクエストを拒否する機能

参考文献

- [1] Slack: その仕事、Slack で。 , Slack Technologies.Inc (オンライン) , 入手先 [〈https://slack.com/intl/ja-jp/〉](https://slack.com/intl/ja-jp/) (参照 2020-05-15) .
- [2] Hacks, W.: Weather Hacks (気象データ配信サービス) , 日本気象協会 (オンライン) , 入手先 [〈http://weather.livedoor.com/weather_hacks/〉](http://weather.livedoor.com/weather_hacks/) (参照 2020-05-15) .